

事業所名

多機能型支援事業所 すてっぴ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和 7年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		子どもたちが今持っている能力を最大限伸ばす									
支援方針		少人数制でひとりひとりと近い距離間で向き合い、食育や制作活動、外遊びを通して、ルールや集団生活の基礎を学べる楽しい空間づくりを行い、子どもたちの自信につながるような取り組みを行います。									
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	10 時	0 分	から	14 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握します。 基本的な生活スキルの獲得のために身の回りのことを自分でできるようにします。 名札のついたかごを用意し、持ち物の管理や片付けを自立的に行えるように支援します。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常動作での姿勢や身体や手先の使い方の向上を促します（姿勢維持のしやすいように椅子と机のサイズを複数準備しています）。 着席して手先を使用する活動と外遊びで身体全体を使用する活動を通して感覚機能や運動機能の向上を支援します。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール表や視覚支援を活用して指示や活動内容がわかりやすいようにし声掛けを行うことで自主的な行動を促します。 集団生活を通して時間や数等の概念形成を促し、適切な認知、行動の習得を支援します。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動等の機会を通して言語や非言語のコミュニケーションにより、自分のやりたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求めるなど生活の中で必要な行動を適切な場面で発揮できるように支援します。 活動中の意図的な声掛け等により、お子様ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援します。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> お子様ひとりひとりの関心や理解度に合わせた活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援します。 集団活動等を通して、順番やルールを守る、他の人と協力する、失敗を受け入れるといった生活に必要なスキルを身に着ける機会を作り、習得を支援します。 									
家族支援		お子様を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施する。お子様の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施する。				移行支援		学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援する。希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施する。			
地域支援・地域連携		お子様がスムーズな生活を送れるよう、他利用事業所の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携を実施する。				職員の質の向上		年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。			
主な行事等		音楽療法（毎月）、秋祭り（11月）、クリスマス会（12月）、餅つき（12月）、初詣・凧揚げ（1月）、節分（2月）									